

## 第Ⅲ章 プレスリリースに見る OA 機器の技術動向

### Ⅲ - 1 MFPの技術動向

伊藤 昇\*、北岡 義隆\*、遠藤 乃之\*、伊藤 真由子\*、上原 康博\*、伊藤 浩\*、  
森 博\*、田坂 滋章\*

#### 1. 調査方法

例年どおり、2004年1月から2004年12月末までに上市されたMFP製品について、新聞、雑誌、文献、ホームページなどから調査し、技術動向をまとめた。調査対象企業は、キヤノン・京セラミタ・コニカミノルタ・シャープ・東芝テック・パナソニックコミュニケーションズ・富士ゼロックス・リコーとした。調査分担当は各委員の所属会社になるようにしたが、委員を出していただいていない企業は適宜割り当てた。冒頭でも述べたが、アナログ機の出荷数はかなりあるものの、新製品は全てデジタル機である。以下に、MFPを取り巻く環境、製品動向（カラー、モノクロ）、環境対応などについて述べ、最後に製品の特長一覧表を添付する。

#### 2. MFPを取り巻く環境

高速化、カラー化、低TCO化といった従来から徐々に進化している変化に加え、近年のDSL、FTTHの急速なインフラ整備、また無線LANサービスの拡大等によって、オフィス環境が大きく進化しモバイルを含めたユビキタスネットワーク社会が現実化しつつある。加えて、映像機器、家庭用機器においても、各種メモリー媒体を介した情報の相互交換を始め、ネットワーク化によりオフィスと家庭の境界があいまいになりつつある。

その反面、個人情報保護法に代表されるセキュリティの確保は、企業、社会にとって大きな課題であり、利便性と安全性の高いレベルでの両立は急務である。また、京都議定書の発効、RoHS指令の発令等により、オフィス機器の環境との調和は特に近年、注目を集めている。

#### 3. カラーMFPの技術動向

2004年発売の新製品に対する技術動向について列記する。

##### 3. 1 ネットワーク化と複合化

オフィスの生産性を高めるべく、各社からデジタル複合機とネットワークを活用した様々なソリューションがカラー機でも提案されている。スキャンしたデータを保管・配布するスキャン to フォルダやスキャン to E-mail 機能、インターネット FAX 機能 などが多くの機種で搭載されている。リコーの imago Neo C385it/C325it/C245 は、コピー感覚で読み取った紙文書データを、文字鮮明化、ファイル容量圧縮、OCR テキストデータ付加を行いながら PDF に自動変換する機能の搭載や、本体に各種記録メディアを直接差し込めるスロットを装備し PC なしでの直接印刷を可能としている。また、オプションで無線 LAN にも対応可能。

##### 3. 2 高画質化

###### ① 高解像度化

富士ゼロックス DocuCentre Color 250/360/450 シリーズは、カラーでリアル 1200dpi の高解像度プリントを実現している。

###### ② 画像処理技術

原稿を自動認識し、最適なコピーモードでコピーする機能が搭載されている。(コニカミノルタ bizhub C350 「マイクロ文字領域分離機能」、シャープ AR-C170FP/C261 「マジカルビュー」)

###### ③ ケミカルトナー

小粒径かつ均質性に優れたケミカルトナーが多く、の機種に搭載されている。画質向上だけでなく、定着性やトナー使用量削減などもアピールしている機種も

ある。(キャノン iR C5800/iRC2620/iRC3220、コニカミノルタ bizhub C350、富士ゼロックス 250/360/450 シリーズ)

#### 3. 3 高生産性

##### ① 中速機ラインナップの拡充 (15-39ppm)

2004 年に発表されたカラー機は、殆どタンデムエンジンを採用し高速化が進んでいる。カラー毎分 21 枚/26 枚/35 枚の富士ゼロックス 250/360/450 シリーズ、カラー毎分 20 枚/31 枚の東芝テック FANTASIA201/311、カラー毎分 28 枚/24 枚/20 枚のリコー imagioNeo C385it/C325it/C245、カラー毎分 22 枚のコニカミノルタ bizhub C350、カラー毎分 17 枚/26 枚のシャープ AR-C170FP/C261、カラー毎分 26 枚/32 枚のキャノン Color image RUNNER iRC2620/C3220 など。キャノン Color image RUNNER iRC5800 は 4 サイクルエンジンを採用し、カラー毎分 15.5 枚、モノクロ毎分 58 枚でモノクロの生産性に重点を置いている。

##### ② 高速機 (40ppm 以上)

キャノンから、プロフェッショナルユーザーをメインターゲットとした、カラー・モノクロ共に毎分 40 枚/51 枚の CLC4000/CLC5100 が発売されている。新開発の AirAssist 機能を搭載し、コート紙など密着性の高いメディアに対しても安定した給紙を可能としている。

##### ① スキャン速度の高速化

富士ゼロックス 250/360/450 シリーズは、自動両面原稿送り装置に新たに CVT 方式を採用することで、モノクロ 50 枚、カラー 35 枚の高速スキャンを実現している。

##### ④ カラーコントローラの複合処理化

キャノン iRC2620/C3220 は、250MHz CPU の 2 つ搭載や、独自の画像ハンドリング技術を搭載したグラフィックエンジンにより、多様な指示のコンカレント処理を実現している。

#### 3. 4 操作性

##### ① ユニバーサルデザイン

多くの機種で、大型液晶パネルの採用や、ボタン位置、配置などを工夫したユニバーサルデザインを採用している。コニカミノルタ bizhub C350 は、角度を 3

段階に可変可能な操作パネルを搭載している。

##### ② ファーストコピータイムの短縮

紙送りプロセスの最適化と高速化などにより、カラーでもファーストコピーの高速化が進展している。(シャープ AR-C260 カラー 8 秒、東芝テック FANTASIA201/311 9.5 秒、富士ゼロックス 250/360/450 シリーズ 7 秒)

##### ③ 「BMLinkS」対応

OA 機器の新しい統合的なインターフェース仕様である業界標準のプリンタドライバ「BMLinkS」に対応した機種が、発売されている。(キャノン iR C2620/C3220、富士ゼロックス 250/360/450 シリーズ)

##### ④ 省スペース設計

センタートレイ排紙設計や、ムダを省いた効率的な設計により、本体のコンパクト化が進んでいる。(キャノン iR3220 幅 620mm×奥行 786mm、シャープ AR-C260 600mm×684mm)

#### 3. 5 セキュリティ

近年、セキュリティ対策が益々重要になってきており、カラー機においても各社から様々なセキュリティ機能を強化したモデルが発売されている。例えば、コニカミノルタ bizhub C350 は、データ自動消去機能、HDD パスワードロック機能、ネットワーク上でのアクセス制限、文書が第三者の目に触れてしまうことを防止する親展ジョブ機能などが搭載されている。また、富士ゼロックス 250/360/450 シリーズは、コピー、プリント時の隠し文字や、パスワードによる利用制限などで、情報の漏洩、改ざんを抑制している。

#### 3. 6 デジカメプリント出力システム

富士ゼロックスから、銀塩写真に近い高画質、高光沢のデジカメプリントシステムが発売されており、プリント保存性は世界トップクラスを実現している。本システムをカラー複写機に搭載することで、デジカメプリント機能も提供可能となり、カラー複写機の新たなビジネス展開が可能となる。

#### 4. モノクロ MFP の技術動向

##### 4. 1 ネットワークと複合化

デジタル技術や通信技術の進展により、デジタル複

合機とネットワークの活用はより活発に、多彩に利用されるようになってきた。従来の機能をさらに進化させ、業務効率の向上とTCOの削減を実現させている。例えば、スキャンしたデータを自動的にPDFファイル化し、E-mail送信やフォルダ、HDDなどに保存をする機能。送信先を複数選択できる同報送信機能。PCから直接ファックス送信機能。ネットワーク環境の多様化に合わせ、マルチプロトコル、マルチOSに対応。IPFaxやインターネットFAX対応、無線LAN対応や、USBポート装着、BMLinks対応などである。

また、文書管理システムとの連携による、文書管理・共有の促進が可能としている。

#### 4. 2 高画質化

各社、トナーや、画像処理の技術により、高画質化を実現している。トナーに関しては、コニカミノルタのデジタルトナー（ケミカルトナー）、富士ゼロックスの超微粒子EAトナー採用など。画像処理技術としては、キャノンのSST（スーパー・スミージング・テクノロジー）や、リコーのウルTRASミージング技術、東芝テックのシリアルフィルター技術など。

#### 4. 3 操作性

##### ① マシンインターフェース

快適な操作性を実現するために、大型カラー液晶タッチパネルや、ユニバーサル・デザインを採用したり、パネルの角度を変更可能にしたりしている。また、画質や編集機能を組み合わせた操作をあらかじめ登録できるテンプレート機能（東芝テック e-STUDIO 230/280）などもある。

##### ② フォームアップタイムの短縮

コニカミノルタ（bizhub 7235）は、電源を入れてから19秒の素早いウォームアップを可能とし、リコーはキャパシタ定着を利用した省エネ技術「HYBRID QSU」、キャノンはフィルム定着技術「オンデマンド定着」により、スリープモードからの復帰を10秒に削減した。

##### ③ 高速化

両面原稿の同時読み込み（シャープ）や、2段階排出機構の採用（富士ゼロックス）、用紙のスイッチバック機構（東芝テック）などの技術により、両面原稿も片面コピー時と同等にスピーディに処理をすることが

可能となった。

また、高速スキャナや、紙送りプロセスの短縮化（富士ゼロックス）、新IRコントローラやツインビームレーザー書き込みによる高速書き込み（キャノン）によりコピー、スキャン、プリンタなど各プロセスの作業時間の短縮が図れる。

#### ④ 省スペース化

ウイングレスや、トナー等の消耗品交換や用紙補給は前面からのアクセスのみのフルフロント設計など、省スペース化により、小規模オフィスにおけるネットワーク機能付きデジタル複合機の導入が促進される。

#### 4. 4 高寿命、高耐久性

OPC（Organic Photo Conductor）ドラムの採用とドラムの表面の改良により、従来感光ドラムに対し1.2倍の長寿命化（キャノン）、長寿命PSLP（Positive Charged Single Layer Photoconductor）ドラムの採用、定着部や現像部などのパーツの長寿命化により、メンテナンス負荷の低減を実現している（京セラミタ）。

#### 4. 5 広幅化

広幅サイズ対応のデジタル複合機は、コニカミノルタ1440W（A2）、2060W（A0）、富士ゼロックスDocuWide2051MF（A0）、京セラミタKM-4010w（A2）、KM-4070w（A2）が発売された。広幅機においても、文書管理ソフトと連携させ、図面の電子化促進や、文書の管理や検索性の向上を可能としている。さらに、ウイングレスデザインによる省スペース化が実現されている。

#### 4. 6 セキュリティ

MFPとネットワークの融合によって、生産性の向上が実現できる一方、HDD内の情報への不正アクセスなどに対する漏洩防止に関心が高まっている。

HDDに蓄積されたデータ保護としては、ユーザID認証、パスワード設定や、データ暗号化等の機能が搭載されている。ネットワーク上での情報漏洩防止に対しては、SSLによる暗号化通信、外部など不正なネットワークからのアクセス防止機能。その他のセキュリティ対策としては、HDD内情報の自動消去や、一括消去の機能などがある。

上に述べた各機能の組み合わせにより、高い安全性

を可能としている。

#### 4. 7 その他

##### ① 消せるトナー e-blue

東芝テックは、MFP やプリンタで印刷した文字や画像を消すことができる青色トナー「消せるトナー e-blue」対応によって、使用済みの OA 用紙の回収、消去、再使用を可能にして、紙の使用量の大幅な削減を達成した。

##### ② リコンディショニング (RC) 機

リコーは、リユース部品使用率 82%を達成したリコンディショニング機に、独自の省エネ技術「QSU」を搭載し、エネルギー消費効率を大幅に向上させている。また、ネットワークスキャナ機能を搭載して、紙の使用量の削減も可能としている。

#### 5. アナログ機器関連

昨年度は、キャノンよりパーソナルコピー機が 2 機種発売されたが、本年度に至っては新たなアナログ複写機は発売されていない。アナログ機器を販売している会社については、数年前に発売した商品を取り扱っている。

#### 6. エコロジー対応

世界的な環境気運の高まりと共に、複写機業界に於いても、各社、環境への取り組みを積極的に展開している。

##### 6. 1 省エネルギー

カラー・モノクロ機ともに、省エネルギーに積極的に取り組んでいる。例えば、コニカミノルタ 7235 は、31Wh/h というエネルギー消費効率を実現。リコー imagioNeo 350RC/450RC は、省エネ定着技術「QSU」を搭載し、「省エネモード」(オートオフ時)の消費電力 7W、エネルギー消費効率 34Wh/h を達成している。

##### 6. 2 環境対応の認証取得

殆どの機種で、グリーン購入法規格適合、エコマーク認定、国際エネルギースタープログラムに適合している。また、パナソニックコミュニケーションズ DP1820 ではエコリーフ環境ラベルを取得し、製品の定量的な環境負荷情報を公開している。

##### 6. 3 トナーリサイクル

トナーリサイクルシステムによる廃棄トナーレスを達成している。(東芝テック e-STUDI 230/280、コニカミノルタのモノクロ低中速機 等)

##### 6. 4 化学物質の総合管理

リコー imagioNeo 602/752 等は、鉛、PVC、六価クロムなどの特定化学物質を大幅に削減。キャノン iRC5800 や東芝 e-STUDIO 230/280 は、2006 年施行の「RoHS 指令」に対応し、水銀、カドミウムなど 6 品目の全面禁止物質対応設計を実施している。

##### 6. 5 部品の再利用

リコー 350RC/450RC は、ユーザーから使用済みの製品を回収し、リサイクル技術によって再生処理をしたうえ品質保証を行なった「リコンディショニング (RC) 機」として、リユース部品使用率 82% (質量比) を実現している。

##### 6. 6 ケミカルトナー採用による CO<sub>2</sub>削減

キャノン、富士ゼロックス、コニカミノルタでは、ケミカルトナーの採用により、従来の混練工程及び粉碎分級工程が不要となり、製造プロセスで CO<sub>2</sub>等の排出量を低減している。

##### 6. 7 紙の使用量削減

モノクロ MFP の技術動向でも触れているが、東芝テックの e-STUDIO 350EB は、消せるトナー「e-blue」の採用により、5 回程度の紙のリユースを可能とし、オフィスにおける紙の使用量削減を達成している。

第三章 プレスリリースに見る OA 機器の技術動向

2004年複写機新製品の主たる特徴

会社名	主たる特長	搭載機種
キヤノン	1. 写真画質のパーソナル向け複合機	PIXUS MP770,MP790,MP900
	2. 検索・セキュリティ対応の電子文書	imageRUNNER iR105i,iR8570N
	3. 「MEAP」搭載	imageRUNNER iR105i,iR8570N
	4. 「ImageWARE Publishing Manager Professional Edition」との連携	imageRUNNER iR105i,iR8570N
	5. プリント・オン・デマンドにも対応する高機能・高耐久機	imageRUNNER iR105i,iR8570N
	6. カラーiRコントローラー	Color image RUNNER IRC3220,C3220N,IRC5800,C5800N
	7. 省スペース設計	Color image RUNNER IRC3220,C3220N,IRC5800,C5800N
	8. 高耐久モデル	Color image RUNNER IRC5800,C5800N
	9. 高速「クアトロ・エンジン」搭載による、カラー・モノクロ毎分40/51枚の高速印刷	CLC4000/CLC5100
	10. AirAssist機能搭載のペーパーデッキ	CLC4000/CLC5100
	11. 1200dpi相当のCopy/Printer/Scanner機能	MF3110,MF5730,MF5750
	12. USB2.0 搭載	MF3110,MF5730,MF5750
	13. SOHO向けコンパクトなモノクロ複合機	MF3110,MF5730,MF5750
	14. 新iRコントローラ搭載	image RUNNER iR2270,iR2270F,iR2870,iR2870F,iR3570,iR3570F,iR4570,iR4570F,iR7270N
	15. 大型カラー液晶タッチパネル	image RUNNER iR2270,iR2270F,iR2870,iR2870F,iR3570,iR3570F,iR4570,iR4570F,iR7270N
	16. ツインビームレーザーによる高速書き込み	image RUNNER iR2270,iR2270F,iR2870,iR2870F,iR3570,iR3570F,iR4570,iR4570F,iR7270N
	17. スリープからの復帰時間0秒の「オンデマンド定着」	image RUNNER iR2270,iR2270F,iR2870,iR2870F,iR3570,iR3570F,iR4570,iR4570F
	18. 手を汚さないセットオンナーボトル	image RUNNER iR2270,iR2270F,iR2870,iR2870F,iR3570,iR3570F,iR4570,iR4570F
	19. コピー中でも交換可能なセットオンナーカートリッジを採用	image RUNNER 7270N
	20. 高速・高画質・高耐久を追求したハイエンドモデル	image RUNNER 7270N
京セラミタ	1. ネットワークキヤノン/FAXへの拡張	KM-1850, KM-2050, KM-2550, KM-3035, KM-4035, KM-5035
	2. 自席や車椅子に座ったまま操作できるミドルポジション操作パネル	KM-1850, KM-2050, KM-2550
	3. 従来比1.6倍の大型操作パネルの採用による操作性の向上	KM-1850, KM-2050, KM-2550
	4. 本体サイズに影響を与えない内蔵型オプション画面ユニット	KM-1850, KM-2050, KM-2550
	5. コピー速度と同等以上の高速50枚スキャナ	KM-3035, KM-4035, KM-5035
	6. コピーデータ/プリントデータのHDD格納による多彩な応用機能	KM-3035, KM-4035, KM-5035
	7. ワイドタッチパネルの搭載による視認性/操作性の向上	KM-3035, KM-4035, KM-5035, KM-4010w, KM-4070w
	8. 4種類のフィニッシュとメールボックスに対応する多彩な後処理選択	KM-3035, KM-4035, KM-5035
	9. 長寿命ドラムの採用による部品交換頻度の最小化	KM-1850, KM-2050, KM-2550, KM-3035, KM-4035, KM-5035
	10. ネットワークプリンタ/スキャナ/FAXのA2サイズ対応	KM-4010w, KM-4070w
	11. A2サイズの胴内排紙採用による本体占有面積の40%削減	KM-4010w, KM-4070w
コニカミノルタ ビジネス テクノロジーズ	1. カラー/モノクロ毎分25/35枚の高速フルカラー複写機	bizhub C350
	2. 600dpi/1800dpi高解像度	bizhub C350
	3. A4分速105枚の高速モノクロ複写機	bizhub PRO 1050, bizhub PRO 1050P
	4. A4分速35枚の中速モノクロ複合機	bizhub 3510f/3510, bizhub 7235
	5. A4分速45枚の中速モノクロ複合機	bizhub 7145
	6. A4分速30枚の中速モノクロ複合機	bizhub 3010f/3010
	7. A4分速28枚の中速モノクロ複合機	bizhub 7228
	8. A4分速25枚の中速モノクロ複合機	bizhub 2510f/2610
	9. A4分速22枚の中速モノクロ複合機	bizhub 7222f/7322
	10. A4分速18枚の中速モノクロ複合機	bizhub 1810f/1810
	11. A4分速16枚のコンパクトモノクロ複合機	bizhub 1611f/1611
	12. ネットワーク対応によるドキュメント処理・高度なコミュニケーションを可能にする	bizhub C350, bizhub 3510f/3510, bizhub 3010f/3010, bizhub 2510f/ 2510, bizhub 1611f/1611, bizhub 1810f/1810, bizhub 7222/7322, bizhub 7145, bizhub 7228
	13. 省スペースA2対応コピー・プリンタ・FAX・スキャナ機能付きデジタル複写機	1440W
	14. A0対応コピー・プリンタ・スキャナ機能付きデジタル複写機	2060W
	15. ライトプロダクションを目指したハイパフォーマンスPODマシン	bizhub PRO 1050/1050P
	16. パネル角度・ボタンの位置・配置を工夫したユニバーサルデザイン	bizhub C350, bizhub 3510f/3510, bizhub 3010f/ 3010, bizhub 2510f/ 2510, bizhub 1611f/1611
	17. パネル角度可変	bizhub 3510f/3510
	18. 省エネの徹底追求(31Wh/h)	bizhub 7235
	19. クイックスタート(WUT:19秒)	bizhub 7222/7322
シャープ	1. ネットワーク環境でのアクセス制限と電子データの暗号化、自動消去	AR-311S/AR-351S/AR-451S/AR-311FP/AR-351FP/AR-451FP
	2. 画面原稿の読み込み時間を約1/2に短縮	AR-311S/AR-351S/AR-451S/AR-311FP/AR-351FP/AR-451FP
	3. コピー・プリンタ・カラー・スキャナ・ファックス標準装備の1台4役デジタル複合機	AR-205FG/AR-163FG
	4. 大型液晶最小の「操作パネル」や「ファックス受信ランプ」を搭載	AR-205FG/AR-163FG
	5. 電子ソート機能標準装備の使いやすさを凝縮した高性能コピー	AR-205FG/AR-205G/AR-163FG/AR-163G
	6. A3フルカラー・スキャナを標準装備	AR-205FG/AR-205G/AR-163FG/AR-163G
	7. プリンタ(GDIプリント)機能を標準搭載	AR-141G
	8. IEEE1284とUSB1.1の2つのインタフェースを標準搭載	AR-141G
	9. パソコンと複合機を簡単に接続できるUSBインタフェースを搭載	AR-141G
	10. 独自の文字/写真領域分離機能を搭載	AR-141G
	11. 独自の原稿種別自動認識機能「マジカルビュー」を搭載	AR-C261S/AR-C261F/AR-C261M/AR-C261FP
	12. 大切な情報漏洩を防ぐドキュメントセキュリティに対応	AR-C170FP/AR-C261S/AR-C261F/AR-C261M/AR-C261FP
	13. タンデムプロセスによりカラー26枚/分の高速・高生産性を実現	AR-C261S/AR-C261F/AR-C261M/AR-C261FP
	14. 最大300g/m <sup>2</sup> の厚紙(コピー/プリントが可能(両面コピー時:200g/m <sup>2</sup> ))	AR-C170FP/AR-C261S/AR-C261F/AR-C261M/AR-C261FP
東芝テック	1. 多彩なネットワーク機能(オプション) ・ネットワークプリンター機能 ・ネットワークスキャナ機能 ・インターネットFAX機能/メーリング機能 ・電子ファILING機能	FANTASIA201/311, e-STUDIO 230/280, e-STUDIO 350EB
	2. 独自の圧縮技術によるフルカラーでの高い生産性の向上	FANTASIA201/311
	3. 高速スキャン機能によるクラス最速の60枚/分を実現	e-STUDIO 230/280
	4. 用紙のスイッチバック機構等の改良による片面コピー時と同じ両面印刷スピードを実現	e-STUDIO 230/280
	5. 暗号化機能(オプション)によるHDDデータの漏洩防止機構	e-STUDIO 230/280
	6. “廃トナーゼロ”のトナーリサイクルシステム構築	e-STUDIO 230/280
	7. 薄肉ヒートローラ、低融点トナーなど新たなトナー定着技術の採用による省エネ法のエネルギー消費効率2006年度目標基準値をクリア	e-STUDIO 230/280
	8. IH定着技術により省エネ法のエネルギー消費効率2006年度目標基準値をクリア	e-STUDIO 350EB
	9. “消せるトナー e-blue”採用による紙の使用量の大幅削減	e-STUDIO 350EB
	10. 鉛フリーはんだ、六価クロムフリー銅板、ハロゲンフリー基板	FANTASIA201/311, e-STUDIO 230/280, e-STUDIO 350EB
	11. 2006年RoHS(欧州禁止化学物質指令)に対応した水銀/カドミウムなど6品目の全面禁止物質対応設計	e-STUDIO 230/280
	12. 大型LCDタッチパネルを搭載、テンプレート機能、角度を自在に変更できるチルト機構の操作パネルの採用	e-STUDIO 230/280, e-STUDIO 350EB
	13. エコマーク、国際エネルギースター、グリーン購入法	e-STUDIO 230/280, e-STUDIO 350EB

第三章 プレスリリースに見る OA 機器の技術動向

2004年複写機新製品の主たる特徴

会社名	主たる特長	搭載機種
パナソニック コミュニケーションズ	1. ネットワーク機能を標準搭載 ・ネットワークカラーキャナー機能 ・ネットワークスキャナー ・ネットワークプリンター ・Eメール/インターネットFAX機能	UF-9000 UF-9000、DP-1820、DP-3030/2330 UF-9000、DP-1820、DP-3030/2330 UF-9000、DP-1820、DP-3030/2330
	2. セキュリティ機能を強化	DP-3030/2330
	3. IP電話網、一般回線自動FAX切り替え機能	DP-1820、DP-3030/2330
	4. 新文書配信ソフトウェア	DP-3030/2330
	5. ワイヤレス、フルフロント設計による省スペース化	UF-9000、DP-1820、DP-3030/2330
	6. コニバーサルデザインに配慮 ・大型タッチパネルと見やすわかりやすいビジュアル表示 ・傾斜させた操作パネル、状態表示ランプ	DP-3030/2330 UF-9000、DP-1820、DP-3030/2330
	7. 国際エネルギースター	UF-9000、DP-1820、DP-3030/2330
	8. エコリーフ環境ラベル取得	DP-1820
富士ゼロックス	1. ・モノクロ毎分45枚/カラー毎分35枚(A4ヨコ)の高速連続プリントを実現(最速モデル) ・高画質と高生産性を両立させるEA-HGTナー採用 ・ファーストコピー、モノクロ4.5秒、カラー7.0秒の高速出力	DocuCentre Color a450/a360/a250 DocuCentre Color f450/f360/f250
	2. ・「DocuWorks 5.0」との組み合わせで図面の電子化を効率化 ・プロッター機能に高性能コントローラーを搭載	DocuWide 2051MF
	3. ・当社モノクロ機に初めてEATナーを採用 ・紙送りプロセスの短縮化・高速化によりファーストコピー・タイム4.5秒 ・自動両面原稿送り装置からのファーストコピー・タイムも6.0秒、両面コピーも28ページ/分を実現	DocuCentre f285 / f235 DocuCentre a285 / a235
	4. ・L判サイズのフォトプリントを毎分11枚で出力する圧倒的なスピード ・銀塩写真に近い高画質・高光沢デジタルプリント ・世界トップクラスのプリント保存性	ゼログラフィー方式による 高速・高画質デジタルプリント出力システム
	5. ・EATナーの採用による高画質を実現 ・PCから直接ファクス送信ができる「ダイレクトファクス」を搭載 ・Power PC搭載で18枚/15枚(A4ヨコ)のパフォーマンスを実現	DocuCentre 185 / 155
	6. ・片面・両面110ページ/分の高速・高画質 ・大容量の新開発自動原稿送り装置 ・厚紙両面コピー可能、多彩な折り処理機能搭載 ・本体ハードディスクへの原稿保存からオンデマンド・プリンティング	DocuCentre f1100 / f900 / a1100 / a900
	7. ・高生産性/高画質を実現 ・A2サイズの等倍ファクス送受信が可能(オプション)	Able 1406 λ
リコー	1. 紙文書を「クリアライトPDF」に自動変換(容量を約1/10に圧縮などの機能)	imagio Neo C385it/ C325it
	2. 各種メモリーカードを直接差し込み、PCなしで直接印刷可能	imagio Neo C385it/ C325it
	3. 独自の省エネ技術「HYBRID QSU」により、スリープモードからの復帰時間10秒	imagio Neo 602ecモデル75/ 752ecモデル75
	4. 鉛、PVC、六価クロムなど、特定化学物質を大幅に削減	imagio Neo 602ecモデル75/ 752ecモデル75
	5. 高度なセキュリティ機能に対応	imagio Neo 602ecモデル75/ 752ecモデル75
	6. 環境調和型デジタル融合器 ・リユース部品使用率82%のリコンディショニング機 ・独自の省エネ技術「QSU」に対応し、「使い易さ」と「省エネ」を両立	imagio Neo 350RC/ 450RC
	7. 省スペースタイプのデジタル融合器	imagio Neo 135シリーズ/ 165シリーズ
	8. デジタルカラーのラインアップ強化	imagio Neo C245/ C245モデル75
	9. 「W-NET FAX機能」搭載により、インターネットファクス送受信可能	imagio Neo 135シリーズ/165シリーズ/C385it/C325it/C245/C245モデル75
	10. 無線LAN対応(オプション)	imagio Neo 135シリーズ/165シリーズ/C385it/C325it/C245/C245モデル75/ 602ecモデル75/ 752ecモデル75

禁無断転載

2004 年度  
事務機器関連技術調査報告書(“Ⅲ-1”部)

発行 社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会  
技術委員会 技術調査小委員会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目21番19号  
秀和第2虎ノ門ビル  
電話 03-3503-9821  
FAX 03-3591-3646